

愛媛県歴史文化博物館

No.72

# 歴博だより

Museum of EHIME History and Culture's News

企画展

## おひなさま

平成25年2月19日(火)～4月7日(日)

開館時間／午前9時～午後5時30分(展示室への入室は午後5時まで)

休館日／2月25日[月]、3月5日[火]、11日[月]、18日[月]

会場／企画展示室

観覧料／企画展

大人300円(240円) 65才以上・小中学生150円(120円)

※( )内は20名以上の団体料金

※他にお得な常設・企画展共通券もあります。

主催／愛媛県歴史文化博物館

後援／愛媛県市町教育委員会連合会・愛媛新聞社・NHK松山放送局

・南海放送・テレビ愛媛・あいテレビ・愛媛朝日テレビ・愛媛

CATV・FM愛媛

春の訪れとともに、三月三日のおひなさまを飾る上巳の節句がめぐってきます。上巳の節句は、けがれを祓い人形を流す風習と平安時代の貴族の娘の人形遊びとが結びついて始まったと考えられています。最初は簡素な人形でしたが、江戸時代に年中行事としてひなまつりが定着すると、次第に凝ったつくりになり、付属の人形も増えて華やかなものになっていきました。

本展覧会では、収蔵品を中心に多彩なおひなさまを展示します。西条藩松平家に嫁いだ通子のおひなさまは、公家の礼式を忠実に再現してつくられた有職雛で、公家出身の通子にふさわしい気品が感じられます。次郎左衛門雛は、丸顔に引目鉤鼻の独特な表情のおひなさまで、武家や公家などの上流階級に人気がありました。町家を中心に流行した享保雛は能面のような面長の顔立ちで、その装束には上質な織物が使われています。明治になると、洋装になった明治天皇と皇后を模してつくられた変わり雛も登場しました。このように様式が異なるおひなさまが集まることで、江戸から昭和中期にかけての雛飾りの移り変わりが見えてきます。

このほかにも、小さな愛らしい御所人形、賀茂人形などのさまざまなおひなさまや、台所道具、ままごと道具もあわせて展示します。春のおたやかな一時、博物館のおひなさまに会いにきませんか。

歴史

みつこしごふくてんしんかんらくせい  
三越呉服店新館落成ポスター

明治三七（一九〇四）年に「デパートメント宣言」を行い、百貨店への道を歩み始めた三越は、大正三年に四年の歳月をかけて新館を完成させます。日本初のエスカレーターを備えた地下1階地上5階の新館は「スエズ運河以東最大の建築」といわれ、「今日は帝劇、明日は三越」のキャッチコピーで有名になりました。

その新館落成のポスターを手がけたのが松山市出身の杉浦非水です。非水は洋画家の黒田清輝がもたらした世紀末のフランスの装飾美術「アール・ヌーボー様式」に魅せられ、

商業デザインの世界を開拓していき  
ました。

このポスターはトーチをもつ女神の図案で、女神も背景も西洋風の装飾的な文様として単純化したアール・ヌーボー調のデザインが試みられています。主題である三越の新館は、画面下の富士山の右横にシルエツトで描かれるだけで、自然に女神像に視線が向くようになっていきます。新しい近代百貨店のイメージを、新しい表現により提示した非水のポスターは、大正モダニズムの幕開けにふさわしい作品といえます。

（専門学芸員 井上 遼）



年代 大正3(1904)年  
サイズ 107cm × 77cm  
所蔵 当館蔵

民俗

たんす  
ハーモニカ箆笥

一見普通の箆笥に見えますが、この箆笥はただの箆笥ではありません。引出しを開け閉めすると「ファ～」とハーモニカのような音が鳴るので「ハーモニカ箆笥」と呼ばれています。箆笥の奥に音の鳴る笛が取り付けられており、空気が入り出すと音が鳴る仕組みになっています。ハーモニカは「息を吸う／吐く」で音が違うように、ハーモニカ箆笥も一つの引出しを「引く／押す」で音が変わります。音が出るのは、防犯の目的のためと思われる、さらに本資料は、開けると非常ベルのような音が響きだす引出しもあります。

扉の内側に記銘があり、松山市の「一矢タンス店（現在のイチヤ家具店）」で作られたことがわかります。ハーモニカ箆笥は、普通の箆笥と比べて高価であるとか、製作に時間がかかるというわけではなかったようですが、空気のもれないしっかりしたつくりでないといけませんでした。イチヤ家具店には現在でもハーモニカ箆笥の修理が持ち込まれることがあるそうです。

（主任学芸員 松井 寿）



年代 大正～昭和時代  
使用地 松山市南土居町  
サイズ 高さ170cm 横182.5cm 幅39.8cm  
所蔵 当館蔵

※三越呉服店新館落成ポスターは、テーマ展「レトロ広告図鑑」（会期：平成24年12月18日～平成25年2月3日）に展示しています。  
※ハーモニカ箆笥は平成25年度特別展「民具王国びくくりミステリーツアー」（仮）で展示予定です。

# おひなさま イベント

日時／3月2日(土)・3日(日)

## こども伝統文化発表会

こどもたちによる実演披露。是非、見にきてね!

**3月2日限定** 時間／13:30開始  
場所／多目的ホール

## 春の呈茶会

お抹茶と和菓子で侘び寂びの世界を体験しよう!

**3月3日限定** 時間／10:00~15:00  
場所／エントランスホール

## 十二単着付け体験

本格的な十二単でおひなさまになっちゃおう♪  
時間／10:00~12:00・13:00~15:00  
対象／小・中学生(身長130cm以上)  
場所／エントランスホール  
参加費／無料  
※事前申込制(各日8名)  
(応募者多数の場合は抽選となります。ご了承ください。)  
※着付けに1人あたり30分かかります。  
※撮影自由、着付けにかかる準備物は不要です。



### 【申込方法】

往復はがきに朱書きで「十二単着付け体験希望」と明記の上、希望日(3/2・3/3)・希望時間(午前・午後)・住所・氏名・年齢・身長・電話番号をそえて**2月20日(水)必着**でお申し込みください。  
宛先：〒797-8511  
愛媛県西予市宇和町卯之町4-11-2  
愛媛県歴史文化博物館「十二単着付け体験」係

## 企画展「おひなさま」 関連イベントのご案内

企画展「おひなさま」会期中(2月19日(火)~4月7日(日))は、楽しいイベントがもりだくさん♪

### おひなさまにへんしん♪

日時／企画展会期中3月以降の土曜・日曜・祝日  
13:30~15:30  
対象／幼児~小学生(身長100cm~140cm)  
場所／企画展示室  
参加費／企画展観覧料が必要です。(幼児は無料)



※なお、3月2日・3日はおひなさまイベントにつき、エントランスホールにて無料で実施いたします。

### おひなさまクロスワード

日時／企画展会期中 9:00~17:30  
場所／常設展示室・企画展示室  
参加費／企画・常設展共通券(当日券)が必要です。

### クレープDEおひなさま

時間／13:00~15:00  
場所／エントランスホール  
参加費／300円

### 【こども歴史館】 企画展会期中の土曜・日曜・祝日に開館しているよ!

午前(9:00~12:00)

#### 自分だけの 貝合わせを つくろう

参加費／300円程度



#### 和柄シュシュ をつくろう

参加費／150円程度



午後(13:00~16:00)

#### 布袋をつくろう

参加費／300円~350円



#### とんぼ玉の 根付をつくろう

参加費／200円程度



### 開館18周年記念イベントを終えて

平成24年11月11日(日)、開館18周年を迎えたれきはくでは、餅まき、れきはく市&マルシェ、呈茶会等、各種イベントを開催しました。午前中はあいにくの雨でしたが、それにもかかわらず多くのお客様にご来館いただきました。れきはく市&マルシェでは、各店舗のよさがでており、ステキな商品やグルメでお客様を魅了していただきました。残念ながら餅まきは中止となりましたが、お餅配布には、長蛇の列ができるほど、賑わっていました。

当日は2,246人の方が来館されました。この日のれきはくは、皆様の笑顔と楽しい雰囲気にもまれた開館18周年にふさわしい記念の一日となりました。多くのみなさまのご来館ならびにご協力、誠にありがとうございました。

# 平成 24 年度 歴史文化講座・下期

## 歴史・文書講座 13:30~15:00

- 講座番号⑥「中世絵巻を読み解く」  
日 時:1月19日(土)  
講 師:土居 聡朋(当館学芸員)
- 講座番号⑦「安政南海地震の記録を読む①  
-南予地方を中心として-」  
日 時:3月10日(日)  
講 師:安永 純子(当館学芸員)
- 講座番号⑧「安政南海地震の記録を読む②  
-南予地方を中心として-」  
日 時:3月24日(日)  
講 師:安永 純子(当館学芸員)

## 考古講座 13:30~15:00

- 講座番号③「文化財に光を当てる!①X線透過撮影装置」  
日 時:2月24日(日)  
講 師:亀井 英希(当館学芸員)
- 講座番号④「文化財に光を当てる!②赤外線画像撮影装置」  
日 時:3月16日(土)  
講 師:亀井 英希(当館学芸員)

お問い合わせ:企画普及グループ・歴史文化講座係  
TEL(0894)62-6222 / FAX(0894)62-6161

## 「空海と和紙」関連講座

- 講座番号②「弘法大師空海の生誕地を訪ねる」(香川県善通寺市)  
【定員:30名】日 時:1月27日(日) 7:30~18:00  
講 師:大本 敬久(当館学芸員)  
参加費:3,150円
- 講座番号③「心と心をつなぐ伊予の水引」  
【定員:30名】日 時:2月11日(月・祝) 13:30~15:30  
講 師:青野 千舟氏(愛媛県産業技術研究所紙産業技術センター)  
参加費:500円
- 講座番号④「愛媛の和紙文化を訪ねる」(四国中央市)  
【定員:30名】日 時:3月23日(土) 7:30~17:00  
講 師:大本 敬久(当館学芸員)  
参加費:2,500円

## 愛媛の「ものづくり」体験講座

- 講座番号③「体験満喫!菊間瓦と今治タオル見学」(今治市)  
【定員:30名】日 時:2月2日(土) 8:00~18:00  
講 師:土居 聡朋(当館学芸員)  
参加費:3,700円

### 【講座の申込方法】

希望する講座番号及び講座名とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入し、開講日の1週間前(「空海と和紙」関連講座②・④、ものづくり体験講座③は2週間前)までにはがきなどでお申し込みください。  
※定員に満たない場合は、申込締切後にも受け付けます。応募者多数の場合は抽選となりますのであらかじめご了承ください。

# 歴史文化博物館友の会 会員募集

3月1日より平成25年度新規会員を募集します。  
友の会は、愛媛の歴史や民俗について、学び親しむ人たちの集まりです。

### 《会員特典》

- 常設展と企画展を無料で観覧できます。
- 「会報」や「歴博だより」などをご自宅にお届けします。
- 友の会主催行事に参加できます。
  - ①研修旅行(年1回)
  - ②現地学習会(年2回)
  - ③クラブ活動(民俗、土器ドキ、パソコン、裂織、古文書)
  - ④特別展解説会
- 季節体験イベントの材料費が無料もしくは割引となります。
- 博物館の刊行物が割安で購入できます。

《お問い合わせ》 友の会事務局  
TEL(0894)-62-6222

### 《入会方法》

- 1.会費をご持参の上、歴史文化博物館に直接お申込みください。
- 2.郵便振替払込取扱票に、名前・住所・電話番号・会員の種類を記入の上、郵便局で会費をお振り込みください。

口座番号 01610-0-45873

愛媛県歴史文化博物館友の会

(ご入金を確認後、会員証をお送りいたします。)

### ●年会費(4月~翌3月)

- 【小中学生会員】 500円
- 【高校生会員】 1,000円
- 【大人会員】 3,000円
- 【家族会員】 4,000円
- 【賛助会員】 10,000円



現地学習会(今治城)

## ご利用案内

- 開館時間 9:00~17:30(入館は17:00まで)
- 休館日 月曜日(下記カレンダーをご参照ください)
- 観覧料

常設展 テーマ展	区分	一般	団体(2割引)
	大人(高校生以上)	500円	400円
	中学生以下	無料	無料
	65歳以上	250円	200円

※企画展・特別展の観覧料はその都度定めます。  
※団体は20名以上です。  
※テーマ展をご覧いただくには、常設展示観覧料が必要です。

## 展示スケジュール 2013.2-4

2013  
2 常設展 和紙産業の歴史と空海と和紙の関わり  
3 えひめの歴史と文化  
4 「おひなさまイベント」平成25年3月2日(土)・3月3日(日)

企画展「おひなさま」  
平成25年2月19日(火)~4月7日(日)

※都合により、行事や展示、日程などについては、変更・中止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## Museum Calendar 2013.1-3 休館日

1月							2月							3月						
日	月	火	水	金	土	日	日	月	火	水	金	土	日	日	月	火	水	金	土	日
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	3	4	5	6	7	8	9
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	10	11	12	13	14	15	16
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	17	18	19	20	21	22	23
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28			24	25	26	27	28	29	30



愛媛県歴史文化博物館  
MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE

管理運営:指定管理者 イヨテツ ケーターサービス株式会社  
〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町 4-11-2 電話:0894-62-6222  
【ホームページ】 <http://www.i-rekihaku.jp>

●発行日 平成25年1月15日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館